遅筆堂文庫講演会

「井上ひさし ユートピアを求めて 本の海を行く」

講師：小森陽一　国文学者・東京大学教授

日時：2013年9月23日（月・祝）午後2時～

場所：川西町農村環境改善センター　聴講：無料

井上ひさしさんは、最も搾取され、収奪され、いじめ抜かれ、踏みにじられているところからユートピアは生まれると考えていらっしゃいました。

…つまり、国益のために米を増産しろ、国益のために減反しろ、国益のために村有林を切り開いて東北新幹線を通す、国益のため山を削って観光道路にする、（中略）　こういう東北に押し付けられてきたあらゆる「国益」を跳ね返すというのが、吉里吉里国独立の一番重要なところなのです。　3.11で被災地となったところは、日本の歴史のなかで、いまだにそういう経験をし続けてきたところです。

『ことばの魔術師井上ひさし』より
（岩波書店刊 2013）

小森陽一氏は一九五三年東京都生まれ、現在、東京大学大学院教授。専門は日本近代小説（表現論・文体論）、近代日本の言語態分析。NHKETV特集などにも出演、文学の世界をわかりやすく解説されています。井上ひさしさんとは『座談会 昭和文学史一～六』（集英社）を共編・著。昭和の文学と時代を、文学者や研究者四六人と対談形式で検証していった珠玉の文学史です。また憲法「九条の会」でも井上さんと同席し、事務局長としても活躍されています。著書に『文体としての物語』（筑摩書房一九八八）『漱石を読みなおす』（ちくま新書 一九九五）『記憶せよ、抗議せよ、そして生き延びよ』小森陽一対談集』（シネ・フロント社、二〇一〇）など多数。

◎講演会聴講ご希望のかたに整理券を発行します。

お問合せ・申込みは
遅筆堂文庫　（川西町フレンドリープラザ・川西町立図書館）までどうぞ。
〒999-0121　山形県東置賜郡川西町大字上小松 1037-1
電話　0238-46-3311　fax　0238-46-3313

◎協力：川西町里の暮らし推進機構